

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-030838

(43)Date of publication of application : 02.02.1996

(51)Int.Cl.

G07D 9/00

G06F 19/00

G07D 13/00

G07F 19/00

(21)Application number : 06-160941

(71)Applicant : HITACHI LTD

HITACHI CHUBU SOFTWARE LTD

(22)Date of filing : 13.07.1994

(72)Inventor : FUJINAMI MASATAKA

HAYASHI MANABU

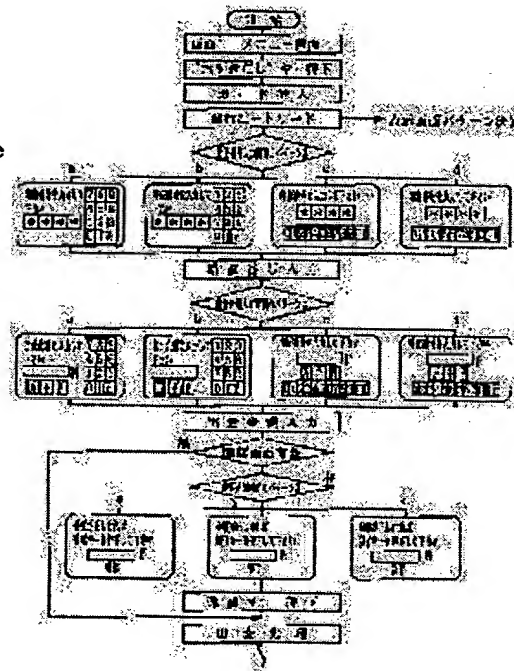
MATSUOKA MASACHIKA

(54) SCREEN DISPLAY SYSTEM FOR AUTOMATIC TELLER MACHINE AGAINST USE OF OTHER BANK CARDS

(57)Abstract:

PURPOSE: To eliminate the puzzlement of a user and also to prevent the misinput of data by limiting the present state display screens within those of an ATM (automatic teller machine) for the dispensing transactions which are carried out through the ATM and then displaying a transaction screen that is most approximate to the screen specifications of the relevant bank for the dispensing transactions carried out by means of the cards of other banks.

CONSTITUTION: The transaction screens of each bank are held in an ATM. When a dispensing transaction is started, a combination of display patterns is decided by the bank code of a read card for a password number input screen, a dispensing amount input screen and an amount confirmation screen respectively. Thereafter a screen equal to that of a relevant bank is displayed. Thus a transaction screen that is most approximate to the screen specifications of the corresponding bank is displayed for the dispensing transaction which is carried out by means of a card of another bank. Thus it is possible to eliminate the puzzlement and discontent of a user caused by his unfamiliar screens and then to prevent the misinput of data. Furthermore the ATM processing time can also be shortened.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.03.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 02.04.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(51) Int.Cl.⁶

G 0 7 D 9/00

G 0 6 F 19/00

G 0 7 D 13/00

識別記号
4 2 6 C

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 15/ 30

A

3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平6-160941

(22) 出願日 平成6年(1994)7月13日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71) 出願人 000233457

日立中部ソフトウェア株式会社

愛知県名古屋市中区栄3丁目10番22号

(72) 発明者 藤波 政孝

愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地 株式会

社日立製作所オフィスシステム事業部内

(72) 発明者 林 学

愛知県名古屋市中区栄三丁目10番22号 日

立中部ソフトウェア株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

最終頁に続く

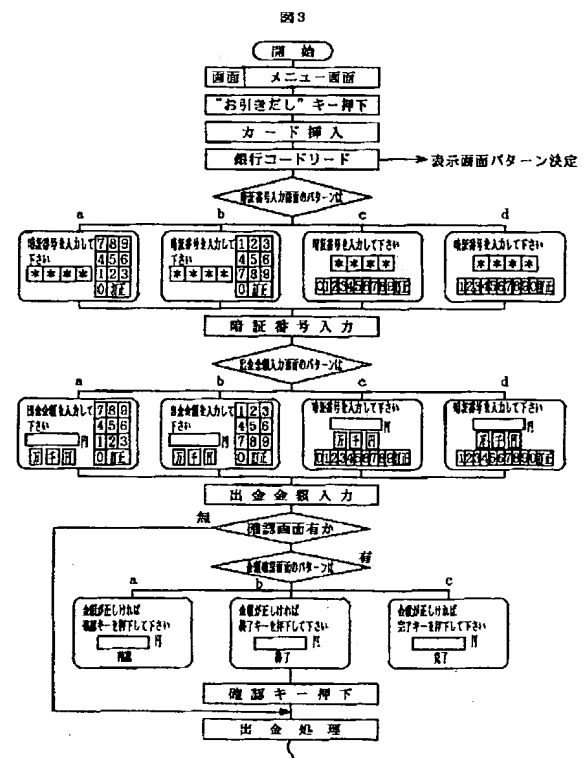
(54) 【発明の名称】 現金自動取引装置における他行カード使用時の画面表示方式

(57) 【要約】

【目的】 現金自動取引装置において出金取引を行う場合、現状表示する画面は、その現金自動取引装置の画面に限られるが、他行カードで出金取引を行った場合に、その銀行の画面仕様に一番近い取引画面を表示することにより、利用者の戸惑いを取り除きまたデータの誤入力を防ぐ。

【構成】 現金自動取引装置において各銀行の取引画面を保持する。出金取引開始時、リードしたカードの銀行コードにより、暗証番号入力画面、出金金額入力画面、金額確認画面の表示パターンの組合せを決定し、以降は当該銀行と同じ画面を表示する。

【効果】 現金自動取引装置において、他行カードで出金取引を行う場合に、その銀行の画面仕様に一番近い取引画面を表示することにより、利用者がいつもと違う画面による戸惑いや不満、そこから起こるデータの誤入力を防ぐことができ、処理時間も短縮することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】現金自動取引装置を他行カードで利用した場合、そのカードを発行した銀行が自らの現金自動取引装置で表示している画面と同じ仕様の画面を表示する画面表示方式。

【請求項2】請求項1で表示する画面は、挿入された銀行カードの磁気ストライプ内の銀行コードにより、当該銀行を確定し現金自動取引装置に保持する画面から選択し表示する画面表示方式。

【請求項3】請求項1で表示する画面は、いくつかの部品で構成され、画面部品の組合せパターンで各銀行仕様の画面を登録することで登録データ量を少なくする制御方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、他行提携している銀行での現金自動取引装置に利用できる。

【0002】

【従来の技術】従来の現金自動取引装置は、暗証番号入力時に表示する画面や出金金額入力画面、金額確認画面等の取引画面は、自他行カードでも他行カードでも同じ画面を表示していた。

【0003】またカード内の情報を使い表示させる画面を変えるという特許として、特開平3-275552号公報があるが、これは自他行ユーザへのサービスであった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来の現金自動取引装置は、普段より自らの現金自動取引装置を使い、その画面での操作に慣れている利用者が、他行の現金自動取引装置を利用した場合に、画面が異なるため戸惑ってしまったり、データを誤入力してしまったりと取引時間が長くなってしまうという問題点があった。

【0005】本発明の目的は、他行ユーザである上記利用者の戸惑いや不安を解消するとともに、データ誤入力を解消することによる取引時間を短縮することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、現金自動取引装置の制御装置内に各銀行で使用している画面仕様を登録し、現金自動取引装置に挿入された銀行カードの磁気ストライプに記録されている銀行コードにより、利用者の銀行の画面仕様と同じ画面を表示する機能を持つ。

【0007】

【作用】他行カードで現金自動取引装置を使用する利用者は、自らの取引画面に近い画面で出金取引を行えるため、いつもと違う画面による戸惑いや不安、そこから起こるデータの誤入力を防ぐことができ、現金自動取引装置での処理時間も短縮される。

【0008】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1～図4にて説明する。

【0009】図1は、本発明を実行する現金自動取引装置の外観の一例を示すブロック図である。図示するように、現金の入出金を行う紙幣入出金部1、硬貨入出金部2、磁気カードのリードを行うカード部3、ご利用明細票を印字して放出する明細票部4、操作誘導案内文字を表示するディスプレイ11と取引選択等を行うタッチパネル12から形成されている。

【0010】図2は、図1に示す現金自動取引装置の構成を示すブロック図である。紙幣入出金部1、硬貨入出金部2、カード部3、明細票部4、ディスプレイ11、タッチパネル12は、図1において説明した通りである。制御部10は、取引等を制御する。印字部21は、磁気カードに印字を行う。

【0011】図3は、普通預金口座の出金取引の流れ図である。また図4は、各銀行が使用している取引画面仕様を銀行コードごとに登録してある画面パターンテーブルおよび各種画面仕様である。本画面パターンテーブル30は、出金取引時に表示する画面を、暗証番号入力画面、出金金額入力画面、金額確認画面の3つに分類し、さらに各画面をいくつかの部品に分け、銀行ごとに構成される画面部品パターンの組合せを登録したものである。各画面部品の表示内容は暗証番号入力画面、出金金額入力画面については、数字入力時のテンキーパターン31、金額確認画面については、金額確認画面の有無と、有の場合の金額確認時に押下するキーパターン32とする。

【0012】現金自動取引装置において、普通預金口座カードを使用して出金取引を行った時、挿入したカードが他行のものであった場合、その銀行の画面仕様に一番近い画面を表示する画面表示方式について説明する。

【0013】まず、メニュー画面より出金取引のためのお引出しキーを押下する。次にカードを図1のカード部3に挿入し磁気ストライプをリードする。当該コードを図2の制御部10に登録してある図4の画面パターンテーブル30より選択する。画面パターンテーブル30には、その銀行で採用している暗証番号入力画面、出金金額入力画面のテンキーパターン、及び金額確認画面の確認キーパターンが登録してある。それにより当該銀行の取引画面仕様を決定する。

【0014】ここで決定した画面を、暗証番号入力時、出金金額入力時、金額確認時に表示し以降の出金取引の処理を行う。

【0015】銀行コードが0001である場合を例にとったものが、銀行コード0001の表示画面例33である。この場合、画面パターンテーブル30より暗証番号入力画面、出金金額入力画面で表示するテンキーはbのテンキーパターンであり、また金額確認画面は有で押下するキーはパターンbの終了キーである。従って、表示

画面結果は銀行コード0001の表示画面例33のようになる。

【0016】

【発明の効果】本発明によれば、利用者の銀行の画面仕様に近い取引画面を表示することが出来るため、画面が異なることにより利用者が、戸惑ってしまったたり、データの誤入力をしてしまうことを防ぐ効果がある。また、銀行そのものの画面を登録するのではないため、登録データ量も少なくてすむ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の現金自動取引装置の外観図である。

【図2】本発明の実施例の現金自動取引装置の構成を示すブロック図である。

【図3】本発明の実施例の現金自動取引装置の出金取引

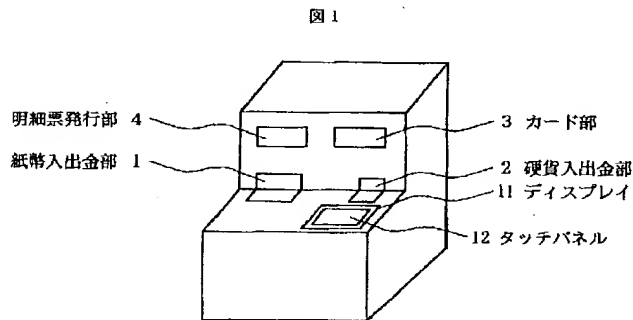
を示す流れ図である。

【図4】本発明の実施例の現金自動取引装置の画面パターンテーブルおよび画面仕様の図である。

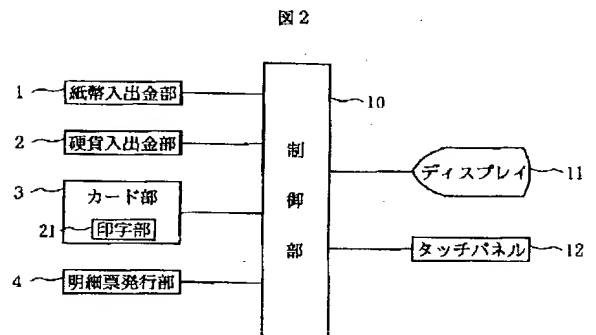
【符号の説明】

- 1…紙幣入出金部、
- 2…硬貨入出金部、
- 3…カード部、
- 4…明細票部、
- 10…制御部、
- 11…ディスプレイ、
- 12…タッチパネル、
- 21…印字部、
- 30…画面パターンテーブル、
- 31…テンキーパターン、
- 32…金額確認パターン。

【図1】

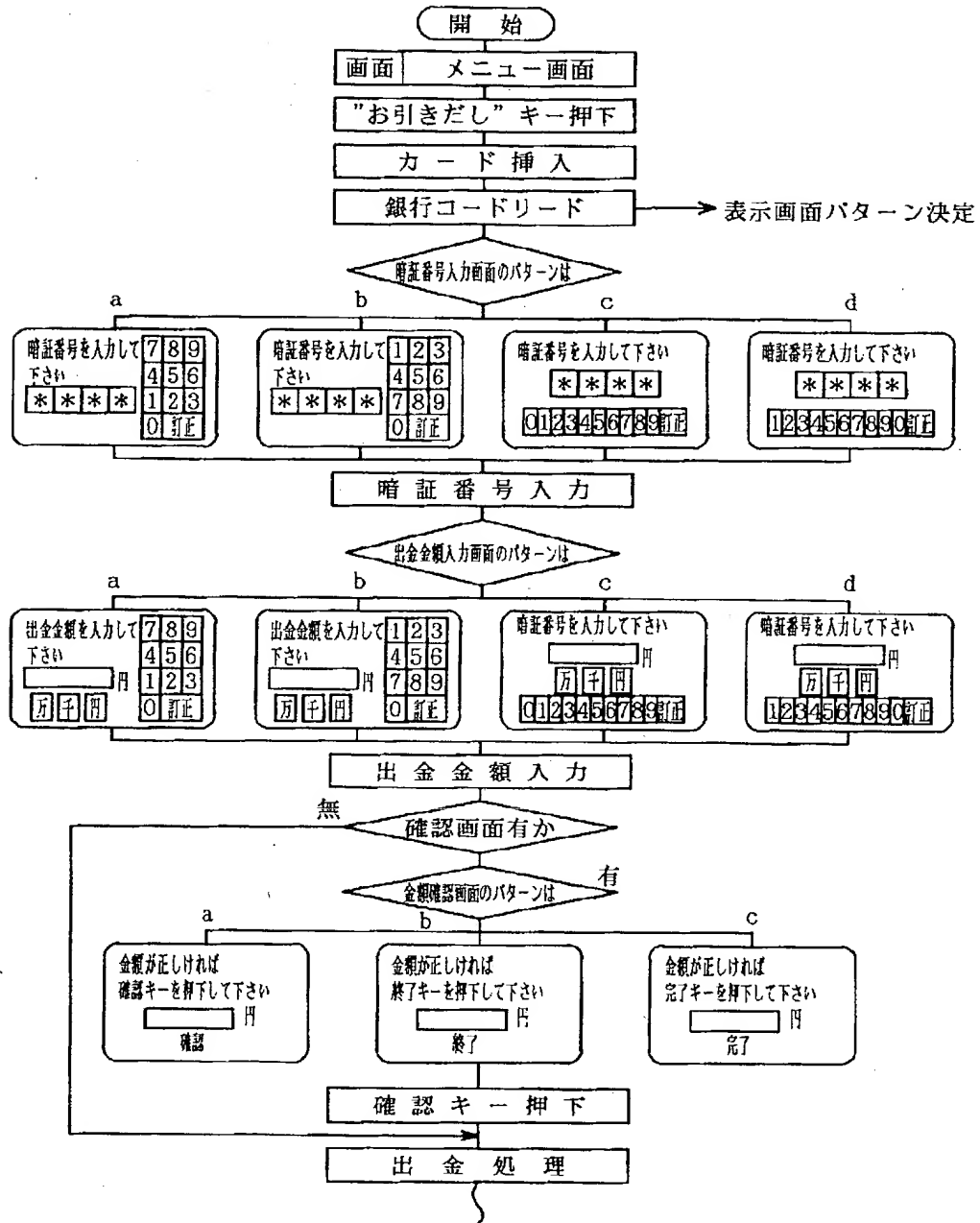


【図2】



【図3】

図3



【図4】

図4

画面パターンテーブル 30

銀行コード	暗証番号入力画面	出金金額入力画面	確認画面	金額確認方法
自 行	a	a	有	a
0001	b	b	有	b
0002	c	c	無	—
0003	d	d	有	c
0004	a	c	無	—
:	:	:	:	:

暗証番号入力画面／出金金額入力画面テンキーパターン 31

パターンa											
7	8	9									
4	5	6									
1	2	3									
0	訂正										

パターンb											
1	2	3									
4	5	6									
7	8	9									
0	訂正										

パターンc											
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	訂正	

パターンd											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	訂正	

金額確認パターン 32

a: [確認] キー押下 b: [終了] キー押下 c: [完了] キー押下

銀行コード0001の表示画面例 33

暗証番号を入力して下さい	出金金額を入力して下さい	金額が正しければ 確認キーを押下して下さい
<div> <div>*本本*</div> <div>1 2 3</div> <div>4 5 6</div> <div>7 8 9</div> <div>0 訂正</div> </div>	<div> <div>円</div> <div>1 2 3</div> <div>4 5 6</div> <div>7 8 9</div> <div>0 訂正</div> </div>	<div>円</div> <div>終了</div>
パターンb	パターンb	パターンb

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁶

G 0 7 F 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 7 D 9/00

3 2 1 C

(72) 発明者 松岡 正親

愛知県名古屋市中区栄三丁目10番22号 日

立中部ソフトウェア株式会社内